

学校法人 東北外語学園 令和5年度 事業報告

第1部 法人の概要

1. 当学園の設置する学校及びその他の事業（令和6年5月1日現在） （設置する学校）

当学園は、以下の学校を設置しています。

- （1）東北外語観光専門学校（昭和21年設立）
学校教育法第126条に定める専門学校
- （2）日本国際学園大学利府おおぞら幼稚園（昭和56年設立）
学校教育法第1条に定める幼稚園
- （3）日本国際学園大学利府第二おおぞら幼稚園（平成2年設立）
学校教育法第1条に定める幼稚園
- （4）日本国際学園大学せいがん幼稚園（昭和56年設立）
学校教育法第1条に定める幼稚園
- （5）キャスウェルホテルアンドブライダル専門学校（平成29年設立）
学校教育法第126条に定める専門学校
- （6）日本国際学園大学坪井幼稚園（平成20年設立）
学校教育法第1条に定める幼稚園

（附帯事業）

当学園は、附帯事業として以下の事業を営んでいます。

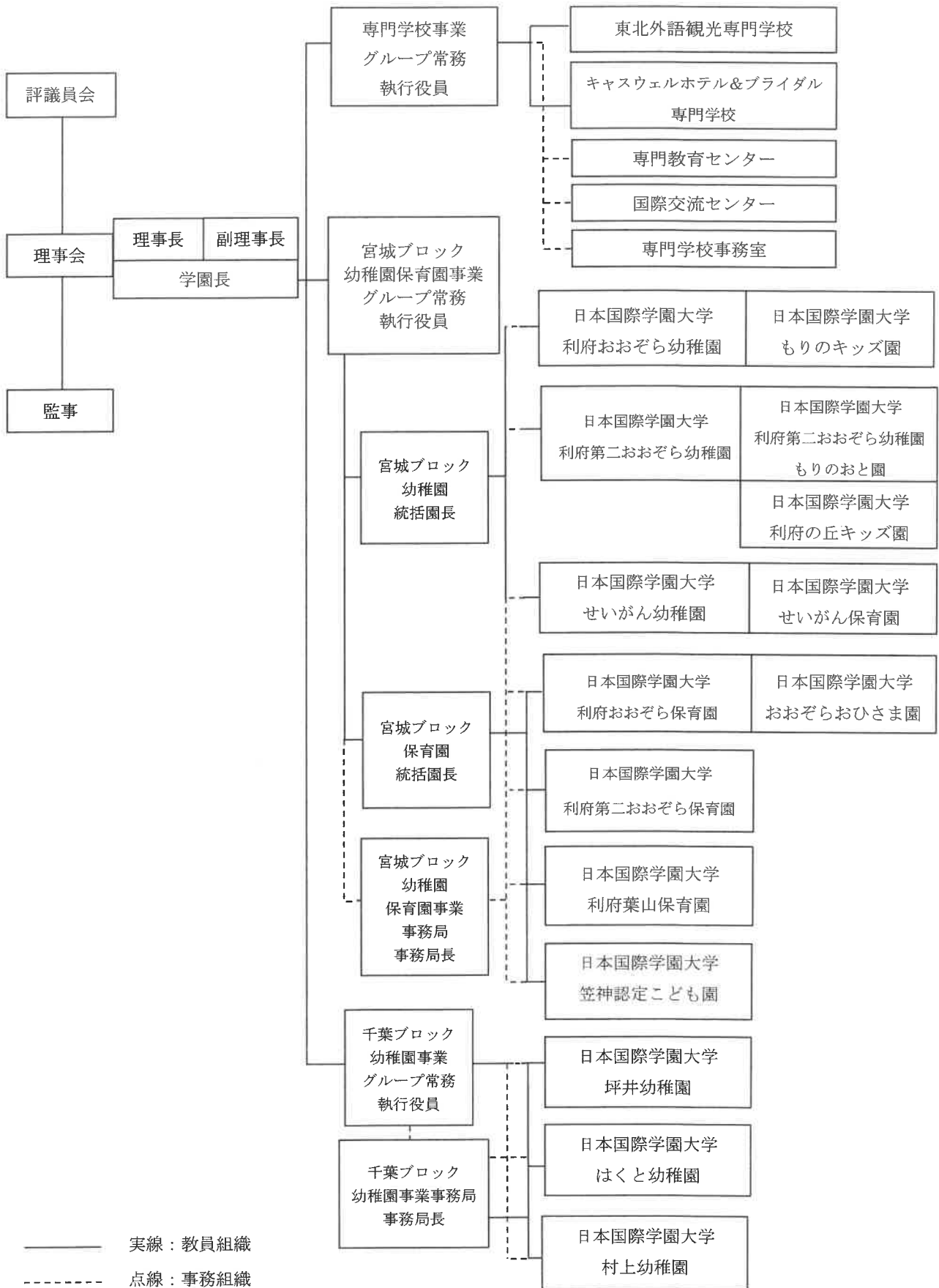
- （1）日本国際学園大学利府おおぞら保育園（平成19年設立）
児童福祉法第39条に定める保育所
- （2）日本国際学園大学利府葉山保育園（平成20年設立）
児童福祉法第39条に定める保育所、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第4条に定める保育所型認定こども園
- （3）日本国際学園大学利府第二おおぞら保育園（平成23年設立）
児童福祉法第39条に定める保育所
- （4）日本国際学園大学おおぞらおひさま園（平成28年設立）
児童福祉法第6条の3に定める事業所内保育事業
- （5）日本国際学園大学もりのキッズ園（平成29年設立）
児童福祉法第59条の2に定める認可外保育施設（企業主導型保育事業助成施設）
- （6）日本国際学園大学せいがん保育園（平成29年設立）
児童福祉法第59条の2に定める認可外保育施設（企業主導型保育事業助成施設）
- （7）日本国際学園大学利府の丘キッズ園（平成30年設立）
児童福祉法第59条の2に定める認可外保育施設（企業主導型保育事業助成施設）
- （8）日本国際学園大学笠神認定こども園（平成31年度設立）
児童福祉法第39条に定める保育所、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第4条に定める保育所型認定こども園

2. 沿革

昭和 21 年 11 月 18 日	八軒小路国民学校（現、八軒中学校）にて東北外国語学校創立。英語科予科、英語科速成科等設置
昭和 31 年 4 月	大学受験科及び高校補習科を設置
昭和 33 年 2 月	東北タイピスト養成所を併設
昭和 39 年 10 月	東三番町 20 番地（中央 4-2-25）を購入
昭和 40 年 12 月	東三番町校舎火災により全焼
昭和 41 年 3 月	本校舎（第一校舎）完成
昭和 42 年 4 月	秘書養成科（昼間 6 ヶ月コース）を新設
昭和 43 年 2 月	財団法人「東北外国語学校」認可
昭和 43 年 11 月	第二校舎完成（鉄筋 4 階建て）
昭和 44 年 4 月	英語科本科を昼間、修学期間 1 年に変更
昭和 47 年 12 月	日吉ビルに東北タイピスト養成所を移転
昭和 51 年 6 月	専修学校法の制定により、東北外国語学校を東北外国語専門学校と改称
昭和 55 年 10 月	学校法人東方学園設置認可
昭和 56 年 4 月	利府おおぞら幼稚園開園
昭和 61 年 9 月	岩崎厨房ビル（仙台市五橋 2 丁目 1-13）を取得
昭和 63 年 3 月	ゼネラル電気より東二番町校地及び校舎を取得
平成 2 年 4 月	利府第二おおぞら幼稚園開園 東北外国語専門学校が財団法人日本語教育振興協会より日本語教育施設（定員 120 名）として認定 学生寮コーポラス米ヶ袋、コーポラス土樋新築
平成 4 年 8 月	五橋校舎（現、東北外語学園本館）新築
平成 7 年 3 月	東北外国語専門学校 2 年課程卒業生に専門士の称号が付与
平成 7 年 4 月	学校法人東北外語学園へ名称変更 東北外国語専門学校の設置者を学校法人東北外語学園に変更
平成 8 年 3 月	東北外国語専門学校が初めての語学研修をカリフォルニア大学リバーサイド校にて実施
平成 8 年 10 月 18 日	創立 50 周年記念式典
平成 11 年 2 月	第 1 回同窓会総会
平成 12 年 4 月	専門課程卒業生の大学編入が可能となり、東北外国語専門学校卒業生 2 名が大学へ編入
平成 15 年 1 月	東北外語トラベルセンター開業
平成 15 年 4 月	東北外国語専門学校英語科本科を英語科へ改称
平成 18 年 4 月	東北外国語専門学校に国際観光科を設置
平成 19 年 3 月	利府おおぞら幼稚園新園舎新築
平成 19 年 4 月	東北外語学園 2 号館新築
平成 19 年 5 月	利府おおぞら保育園開園
平成 20 年 4 月	利府葉山保育園開園
平成 22 年 4 月	東北外国語専門学校を東北外語観光専門学校に名称変更
平成 23 年 4 月	利府第二おおぞら保育園開園。利府第二おおぞら幼稚園及び利府第二おおぞら保育園が幼保連携型認定こども園しらかし台こども園として宮城県知事の認定を受ける
平成 27 年 3 月	幼保連携型認定こども園しらかし台こども園を廃止する
平成 27 年 4 月	せいがん幼稚園の設置者を学校法人高橋学園から学校法人東北外語学園に変更し設置者となる

平成 28 年 4 月	利府葉山保育園が保育所型認定こども園「認定こども園利府葉山保育園」として宮城県知事の認定を受ける 「おおぞらおひさま園」が開園
平成 29 年 4 月	キャスウェルホテル&ブライダル専門学校開校、利府おおぞら幼稚園付属保育施設「もりの保育園」、せいがん幼稚園付属保育施設「せいがん保育園」開園
平成 30 年 4 月	もりの保育園の名称を「もりのキッズ園」に変更、利府第二おおぞら幼稚園付属保育施設「利府の丘キッズ園」開園
平成 31 年 4 月	多賀城市公立保育所の民営化に伴い、笠神保育所を開所する
令和 2 年 4 月	坪井幼稚園の設置者を学校法人清麗学園から学校法人東北外語学園に変更し設置者となる
令和 3 年 4 月	笠神保育所が保育所型認定こども園「笠神認定こども園」として宮城県知事の認定を受ける
令和 3 年 7 月	東北外語トラベルセンター閉業
令和 4 年 4 月	せいがん幼稚園が幼稚園型認定こども園「せいがん幼稚園」として宮城県知事の認定を受ける 利府第二おおぞら幼稚園分園もりのおと園が開園する
令和 5 年 4 月	令和 6 年 4 月日本国際学園大学開学に向けて、幼稚園及び保育園を名称変更する（利府おおぞら幼稚園から日本国際学園大学利府おおぞら幼稚園、利府第二おおぞら幼稚園から日本国際学園大学利府第二おおぞら幼稚園、利府第二おおぞら幼稚園もりのおと園から日本国際学園大学利府第二おおぞら幼稚園もりのおと園、せいがん幼稚園から日本国際学園大学せいがん幼稚園、坪井幼稚園から日本国際学園大学坪井幼稚園、利府おおぞら保育園から日本国際学園大学利府おおぞら保育園、利府葉山保育園から日本国際学園大学利府葉山保育園、利府第二おおぞら保育園から日本国際学園大学利府第二おおぞら保育園、笠神認定こども園から日本国際学園大学笠神認定こども園、おおぞらおひさま園から日本国際学園大学おおぞらおひさま園、もりのキッズ園から日本国際学園大学もりのキッズ園、せいがん保育園から日本国際学園大学せいがん保育園、利府の丘キッズ園から日本国際学園大学利府の丘キッズ園に名称変更） 日本国際学園大学利府第二おおぞら幼稚園が幼稚園型認定こども園「日本国際学園大学利府第二おおぞら幼稚園」として宮城県知事の認定を受ける。

3. 組織（令和5年度）



第2部 事業報告

東北外語観光専門学校では、英語科入学者数の減少や国際総合ビジネス科の募集停止等により、入学者数が減少した。一方、キャスウェルホテル&ブライダル専門学校は過去最多の入学者数となった。

各幼稚園・保育園においては、ほぼコロナ禍以前の状況に戻ったことから、それぞれの個性と工夫を活かし、保護者のニーズに合わせた様々なイベントやサービスに取り組んだ。

※ 以下、学生数（園児数）は令和5年5月1日現在、新入学者数（入園児数）数等は令和5年4月1日入学者数を記載している）

1. 東北外語観光専門学校・キャスウェルホテル&ブライダル専門学校

令和5年度入学者数は、東北外語観光専門学校 138名、内訳は英語科 11名、エアライン科 14名、ビジネスデザイン科 9名、国際コミュニケーション科 19名の入学があった。大学進学率の上昇に伴い、特に英語科は大幅に減少した。外国人留学生は日本語科 4月期生 54名、10月期生 31名となり、コロナ前と同じ程度の入学者数に回復している。国際総合ビジネス科は、コロナによる入国規制の影響を受けた時期の学生が対象となり、宮城県内にも留学生が殆どいない状況となったことから、入学者が見込めないと判断し募集を停止した。キャスウェルホテル&ブライダル専門学校は、開校以来最多の25名の入学者数となった。

就職状況は、全体では96.3%、日本人学生については、95%（56名/59名）であった。留学生は100%（23名/23名）と非常に良い結果であった。

日本人学生の大学3年次編入者は12名が合格（東北学院大学、宇都宮大学、関西外国語大学、日本大学、関東学院大学、帝京大学等）した。昨年度より多くの学生が受験し、合格数も増加した。

施設面では、日本国際学園大学の開学を見据え、本館外壁の塗装を実施した。また隣地のマンション建設に伴い、境界にある校舎西側のブロック塀、看板の撤去と樹木の伐採を実施した。

2. 日本国際学園大学利府おおぞら幼稚園

令和5年度新入園児数は73名。もりのキッズ園からの継続や親子学級からの入園も多く、満3歳児 28名、3歳児 60名、4歳児 53名、5歳児 79名の計 220名となった。

子育て支援活動では、毎月定期的に子育て事業の説明会を実施。8月にはイベントを開催して認知度を上げ、園に足を運ぶきっかけを作った。保護者の求めている支援を明確にし、参加する事業を選択してもらうようにした。

幼稚園運営面では保育参観や運動会等、行事の来園者の人数制限をなくし、コロナ禍前と同じように行った。

設備面では9月にエントランス改装工事を行い、カフェスペースの設置の他、談話室を子育て支援専用ルームとし、乳幼児が遊べ保護者が安心してくつろげる室内空間や保護者がほっとできるサービスの提供を始めた。

3. 日本国際学園大学利府第二おおぞら幼稚園

令和5年度より幼稚園型認定こども園へ移行して運営を開始した。

新入園児数は年少 14名で利府の丘キッズ園からの継続・弟妹の入園の他に新規の入園者が5名いた。

子育て支援では、前年度からの継続・在園児弟妹の参加が多く占めた。参加者の評判が良かった。

インスタグラムには園の特色である「自園給食」を前面に打ち出し、毎日メニューを公開して保護

者より好評をいただいた。園の様子も食育を中心に上げている。

4. 日本国際学園大学利府第二おおぞら幼稚園もりのおと園

令和5年4月に幼稚園型認定こども園に移行。英語、体操、食農を三つの柱とする教育を展開している。毎日の英会話グループシードでは実体験より学ぶ英語学習を実践し、体操はコスモスポーツクラブの講師による体操を正課に導入、体の基礎作りと規律ある心の体得を目指している。食農では花や野菜、果物の混合栽培から自然美を体感しながら自分たちで育て活用している。

アフタースクールでは異年齢交流を深めながら、アフタースクール独自の教育に取り組んだ。

令和5年度は満3歳12名、3歳児19名、4歳に20名、5歳児9名の計60名(定員64名)であった。

子育て支援においては園開放、イベント、1歳児・2歳児親子学級を設け、幅広い未就園児の保護者が参加できる活動を目指した。

5. 日本国際学園大学せいがん幼稚園

幼稚園型認定こども園として2年目を迎えた。

園児数は年度途中での転入園もあり、満3歳児8名、3歳児48名(うちせいがん保育園から11名、プレ幼稚園から5名入園)、4歳児50名、5歳児は変わらず33名で138名となった。3歳児の弟妹以外の新規入園は18名だった。

ヨコミネ式教育を行っている園として高く評価を得ており、年間カリキュラムを基に園児一人一人に目標を持たせ、達成につなげていく指導を徹底して行った。

また保育者は体操と音楽の研修を受講し、指導法を学び研鑽に努めた。

子育て支援は専任の担当者が様々な企画で親子学級を運営した。また園開放では0歳児や両親参加等、新規の参加者の幅が広がった。

園舎が建設より20年を経過したため、不具合や修繕を要する箇所が出てきているが、その都度修繕を行う等対応している。

9月に村上幼稚園のバスを譲り受けることができたので、故障が頻発していたバスを令和5年度いっぱい廃車とした。

6. 日本国際学園大学坪井幼稚園

令和5年度は各行事をほぼコロナ渦前に戻し行った。全員で難しいもの(室内での活動)は縦割りなどにして行った。園内での見学も保護者のみとしていたところを、行事によっては祖父母も参加できるようにした。卒業生を対象としたサマーキャンプをデイキャンプから、1泊2日に戻した。

園児数は3歳児79名、4歳児70名、5歳児70名の計219名であった。

園児募集活動では体験保育、園庭開放を引き続き行い、来園した方への子育て相談も行った。また新たにInstagramを開始した。

7. 日本国際学園大学利府おおぞら保育園

園児数は0歳児6名、1歳児7名、2歳児9名、3歳児14名、4歳児14名、5歳児14名の計64名、新入園児数は14名であった。

子育て支援として、園開放「おおぞら広場」を積極的に行い、SNSやチラシの活用にも力を入れ、地域の方に園を知っていただく機会とした。改修した玄関エントランスは、おおぞら広場に来園した方が利用している。

「ネイチャー×カルチャー×アドベンチャー」と園の特色を打ち出し、コスモ体操教室の導入や

自然の中での保育にも力を入れた。

8. 日本国際学園大学おおぞらおひさま園

例年に引き続き、日本国際学園大学利府おおぞら保育園と連携を取りながら保育を行った。

園児数・入園者数共に、1歳児5名、2歳児5名の計10名（うち従業員枠2歳児1名）、新入園児数は6名であった。

9. 日本国際学園大学利府葉山保育園

園児数は、令和5年5月1日時点で0歳児3名、1歳児11名、2歳児5名、3歳児14名、4歳児14名、5歳児16名の計62名であった。

未就園児親子を対象とした事業「にこにこ広場」は参加者が、2～3月に少なかったが、令和4年度末より取り入れた給食試食会が好評で、令和5年度は繰り返し参加してくれる方も増えた。

また、6月より在園児の保護者を対象とした子育て支援事業として「葉山さんさんサタデー」を開始、土曜日に親子で来園し自由に遊ぶ日なども設けた。クリスマスカードの製作やダンス教室など保護者を講師に招いて行うことで参加者も徐々に増えてきた。

令和4年3月の地震被害の修繕を補助金を一部いただきながら完了。床暖房に関しては修繕の難しさや夏の暑さを考えエアコンの設置に切り替えた。

10. 利府第二おおぞら保育園

園児数は、0歳児6名、1歳児6名、2歳児8名、3歳児11名、4歳児15名、5歳児9名の計55名で、新入園児数は15名であった。年度途中での入退園があり、特に0歳児は6ヵ月からと1年間の育児休暇明けの入園が多く、8月に3名が入園した。

外部講師による体操教室、わらべうたあそび、英語あそびは毎年好評である。

子育て支援として園開放や給食試食会、土曜日の受け入れを行った。また、インスタグラムの更新にも力を入れ、園の魅力発信に努めた。

園児数の減少や保育者の配置状況により、令和6年度の利用定員を50名に変更を決定した。

11. 日本国際学園大学笠神認定こども園

令和5年度の園児数は、0歳児6名、1歳児12名、2歳児18名、3歳児18名（1号4名）、4歳児19名（1号2名）、5歳児19名（1号3名）の計92名（1号児14名、2号3号78名）であった。新入園児は23名であった。

子育て支援活動として、月1回予約制（定員10名）の「はなちゃん広場」を実施し、月～土曜日は園庭開放を行った。「はなちゃん広場」では給食試食やティータイムの時間をとり、お茶を飲みながら参加者がゆっくりとお話ができると大変好評だった。リピーターが多く、毎回定員いっぱい新規の参加者の取り込みに苦労した。

園庭整備として令和5年度はビオトープを作る計画を立て、都市緑化機構第一生命財団主催の「緑の環境プラン大賞」に応募し、入選。令和6年3月にビオトープが完成、4月にはポポー、はなざくらなどを植樹し、ハーブ等の草花も植え、園庭が華やかになる。

12. 日本国際学園大学もりのキッズ園

園児数は、1歳児20名、2歳児13名の計33名。新入園児は20名で、幼稚園児の弟妹や職員枠のほか、利府町以外からの入園も見られた。

子育て支援では、毎月定期的に子育て応援の説明会を開催。8月にはイベントを開催し認知度を上げ、園に足を運ぶきっかけを作った。保護者の求めている支援を明確にして、参加する事業を選択してもらうようにした。

13. 日本国際学園大学せいがん保育園

ヨコミネ式教育を行っている園として評価を得ており、弟妹の入園児にとってはそれが魅力となっている。園児数は途中入園も含め15名(弟妹は11名)であった。

担当保育士は研修でヨコミネ式の2歳児の指導法を学び、共有を図って保育にあたった。

令和5年度より保護者の負担軽減のため、使用済みのおむつの持ち帰りをなくし、処理を幼稚園が行っているが、保護者の方から大変喜ばれている。

14. 日本国際学園大学利府の丘キッズ園

園児数は、1歳児3名、2歳児5名の計8名。新入園児は3名の入園となった。

子育て支援事業の対象年齢を0歳児からに拡充した。0～1歳児を中心とした活動を計画し、実施。

制作活動や給食試食会が大変好評で、ほとんどが参加者の口コミにより参加し、年間17組の参加となった。

事業活動収支計算書

令和5年 4月 1日から

令和6年 3月 31日まで

学校法人東北外語学園

(単位 円)

		科目	予算額	決算額	差異	摘要
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	501,908,300	504,664,332	2,756,032	
		手数料	3,333,000	2,958,800	-374,200	
		寄付金	0	0	0	
		経常費等補助金	341,263,221	363,343,700	22,080,479	
		付随事業収入	546,383,952	634,308,085	87,924,133	
		雑収入	21,622,500	41,214,427	19,591,927	
		教育活動収入計	1,414,510,973	1,546,489,344	131,978,371	
	事業活動支出の部	人件費	818,799,950	865,340,829	46,540,879	
		教育研究経費	240,083,831	239,441,396	-642,435	
		管理経費	301,397,578	507,515,130	206,117,552	
徴収不能額等		0	952,000	952,000		
	教育活動支出計	1,360,281,359	1,613,249,355	252,967,996		
	教育活動収支差額	54,229,614	-66,760,011	-120,989,625		
教育活動外収支	事業活動収入の部	科目	予算額	決算額	差異	摘要
		受取利息・配当金	787,387	778,357	-9,030	
		教育活動外収入計	787,387	778,357	-9,030	
	事業活動支出の部	借入金等利息	4,627,025	4,387,032	-239,993	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	
		教育活動外支出計	4,627,025	4,387,032	-239,993	
	教育活動外収支差額	-3,839,638	-3,608,675	230,963		
	経常収支差額	50,389,976	-70,368,686	-120,758,662		
特別収支	事業活動収入の部	科目	予算額	決算額	差異	摘要
		資産売却差額	0	0	0	
		その他の特別収入	300,000	6,000	-294,000	
		特別収入計	300,000	6,000	-294,000	
	事業活動支出の部	資産処分差額	0	0	0	
		その他の特別支出	0	35,000	35,000	
特別支出計		0	35,000	35,000		
	特別収支差額	300,000	-29,000	-329,000		
[予備費]			35,277,051	/	0	
基本金組入前当年度収支差額			15,412,925	-70,397,686	-85,810,611	
基本金組入額合計			0	-151,478,925	-151,478,925	
当年度収支差額			15,412,925	-221,876,611	-237,289,536	
前年度繰越収支差額			0	-679,088,936	-679,088,936	
基本金取崩額			0	92,116,197	92,116,197	
翌年度繰越収支差額			15,412,925	-808,849,350	-824,262,275	
(参考)						
事業活動収入計			1,415,598,360	1,547,273,701	131,675,341	
事業活動支出計			1,400,185,435	1,617,671,387	217,485,952	

貸借対照表

令和 6年 3月 31日

学校法人 東北外語学園
(単位 円)

科目	本年度末	前年度末	増減
資産の部			
固定資産	4,594,262,905	4,652,031,562	-57,768,657
有形固定資産	4,243,096,783	4,340,605,953	-97,509,170
土地	1,711,696,204	1,711,696,204	0
建物	2,238,395,841	2,326,176,458	-87,780,617
教育研究用機器備品	28,294,213	38,663,542	-10,369,329
その他の有形固定資産	264,710,525	264,069,749	640,776
特定資産	267,764,908	227,247,890	40,517,018
有価証券	63,408,694	63,408,694	0
その他の固定資産	19,992,520	20,769,025	-776,505
流動資産	1,051,044,312	1,145,579,067	-94,534,755
現金預金	963,392,254	1,100,599,818	-137,207,564
その他の流動資産	87,652,058	44,979,249	42,672,809
資産の部合計	5,645,307,217	5,797,610,629	-152,303,412
負債の部			
固定負債	523,885,528	630,553,718	-106,668,190
退職給与引当金	23,917,528	13,253,718	10,663,810
長期借入金	499,968,000	617,300,000	-117,332,000
流動負債	463,907,176	439,144,712	24,762,464
前受金	209,054,229	236,359,456	-27,305,227
短期借入金	107,332,000	97,332,000	10,000,000
未払金	68,074,504	41,830,848	26,243,656
その他の流動負債	79,446,443	63,622,408	15,824,035
負債の部合計	987,792,704	1,069,698,430	-81,905,726
純資産の部			
基本金	5,465,819,163	5,406,456,435	59,362,728
第1号基本金	5,465,819,163		5,465,819,163
第2号基本金	0	0	0
繰越収支差額	-808,304,650	-678,544,236	-129,760,414
元入金	3,837,601	3,837,601	0
翌年度繰越収支差額	-812,142,251	-682,381,837	-129,760,414
純資産の部合計	4,657,514,513	4,727,912,199	-70,397,686
負債及び純資産の部合計	5,645,307,217	5,797,610,629	-152,303,412

財産目録

令和6年3月31日

(単位:円)

科目	残高
一 資産額	
(一) 基本財産	4,243,096,783
1 土地	1,711,696,204
2 建物	2,238,395,841
3 教育研究用機器備品	28,294,213
4 その他	264,710,525
(二) 運用財産	1,398,372,833
1 現金預金	963,392,254
2 その他	434,980,579
(三) 収益事業用財産	3,292,901
合計	5,644,762,517
二 負債額	
(一) 固定負債	523,885,528
1 退職給与引当金	23,917,528
2 その他の固定負債	499,968,000
(二) 流動負債	463,907,176
1 前受金	209,054,229
2 その他の流動負債	254,852,947
合計	987,792,704

(注) (1) 基本財産: 学校法人の設置する私立学校の経営に必要な施設及び設備又はこれらに要する資金

(2) 運用財産: 学校法人の設置する私立学校の経営に必要な財産

(3) 収益事業用財産: 収益を目的とする事業に必要な財産


監査報告書

令和6年5月31日

学校法人東北外語学園
理事会 御中
評議員会 御中

学校法人東北外語学園

監事 朴澤徳 

監事 山本宣生 

私たちは、学校法人東北外語学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて同学園の令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）における財産目録及び計算書類（貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動収支計算書）を含め、学校法人の業務及び財産に関し監査を行いました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務及び財産に関する不正な行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実がないことを認めました。

以上